

社団法人沖縄県作業療法士会 平成 25 年度前期総会 報告

※総会への出席ならびに委任状提出ありがとうございました。

開催日時：平成 25 年 6 月 8 日 19 時 00 分～20 時 00 分

開催場所：沖縄県総合福祉センター 403 研修室

出席会員数：427 名（本人出席：25 名、委任状出席：402 名） 会員総数：621 名

議長：嘉数栄司氏（沖縄リハビリテーション福祉学院）

書記：神山育子氏（大浜第二病院）、内間利奈氏（大浜第二病院）

議事録署名人：吉岡美和氏（沖縄リハビリテーション福祉学院）、玉城高信氏（宜野湾記念病院）

第 1 号議案 平成 24 年度事業報告

平成 24 年度事業を、事務局・学術部・教育部・財務部・広報部・福利厚生部・保険部・事業部・渉外部・学会・倫理委員会・選挙管理委員会・法人移行準備委員会・訪問リハビリ委員会から報告⇒承認。

（質問） 終了となった研究会もあるようだが、研究会の総括が必要ではないか。

（石川理事） 研究会主催勉強会等はその都度広報されている。研究会補助費の用途は基本的に自由。今後は、学会運営や学術誌への投稿を責務として検討している。

（質問） 終了となった研究会の報告が必要ではないか。

（石川理事） 今後報告内容を検討していく。

（質問） 事務局から報告された「福祉用具支援アドバイザーモデル事業」は平成 24 年度は実施されていないのではないか。

（比嘉会長） 議案書の掲載ミス。

（質問） 会費納入率について。

（山城理事） 平成 23 年度 69%、平成 24 年度 79%と約 10%向上している。

（質問） コンビニ納入の効果か。

（山城理事） コンビニ納入は未納金も含めての金額で伝票発行しているため、その事も納入率アップにつながったのではないかと。また、事務局事務員の採用により会員整理が進められてきた事も納入率アップにつながっていると思われる。

（質問） 法人移行の進捗状況について

（比嘉会長） 本総会にて昨年度の事業・決算報告が承認されれば移行作業を急ピッチで進めていく。8 月か 9 月を目処に提出を検討している。

（質問） 会計事務所とのやりとりについて。

（山城理事） 予算書を県への提出のため損益ベースへ修正し打ち合わせを行っている。

第 2 号議案 平成 24 年度決算報告

平成 24 年度決算報告書に基づき、平成 24 年度決算を報告⇒承認。

※特に質問無し

（監事より） 「領収書不備」「交通費申請書の不備」「第三者が見ても一目でわかるように綴る」ことを指導した。委託先の指導の下しっかりと管理され、残高金額と残高証明の確認を行い適正に処理されていた。

第 3 号議案 平成 25 年度予算報告

平成 25 年度予算書に基づき、平成 25 年度予算を報告⇒承認。

（質問） 渉外部活動費の芸能クラブ活動準備会議費について。

（比嘉会長） 昨年度の学会時に立ち上げが持ち上がった。芸能に触れる機会を増やし業務にも活かしたい。また、イベント時に作業療法（士会）の広報にも役立てたい。現状は企画段階。

（質問） 趣旨が分かりにくい。会員の了解は得られているのか。

（比嘉会長） 広報誌への掲載ならびに前回総会で概要は伝えたが、具体的な説明は不十分。現状は企画段階なので詳細が決まり次第報告していく。

- (質問) 復興特別所得税の扱いについて(平成 25 年 1 月 1 日より「復興特別所得税」が導入され、謝礼金を支払う際の源泉徴収が 10%から 10.21%となっている)。
- (山城理事) 1 月以降の講師謝礼は所得税 10.21%を差し引いて支払いしている。また講師謝礼の規定を変更している。

その他(報告)

①第 11 回沖縄県作業療法学会に関して

- ・開催時期：平成 26 年 2 月(予定)
- ・場所：沖縄県総合福祉センター(予定)
- ・内容：口述発表、ポスター発表、特別講演、30 周年式典 等
- ・組織：学会長 比嘉靖氏(県立中部病院)、実行委員長 大城圭氏(沖縄中央病院)

- (意見)
- ・学会についての報告が別紙でされているが、日付と記載者名を付けて欲しい。
 - ・県内公立病院からの発表が少ない。是非パフォーマンスして欲しい。
 - ・研究会誌が未だに募集中なのも課題だと思う。学会とリンクし豊かなものにして欲しい。
 - ・学会運営は形式にとらわれず魅力的な物にして欲しい。新しい考えを取り入れて欲しい。
- (比嘉会長)
- ・県職 OT の取り組みを県民や会員へ報告できるようにしていきたい。
 - ・学会は色々な職域から出せるよう工夫する。何か良い案があれば助言いただきたい。

②当士会事務局事務員に関して

- ・当士会事務局事務員が、体調不良により 5 月初旬より休んでいる。
- ・体調不良が長期化する可能性もある為、別の事務員の採用も検討している。
- ・別の事務員を採用する場合は、一時的(引き継ぎの期間)に 2 名体制になる等もあり、予算計上していた給与手当を上回る支出になる可能性があるが、事務局の作業が滞らないよう採用の方向で検討したい。

※特に質問無し

以上